



# プレス発表資料

平成 22 年 1 月 22 日  
秋 田 大 学

秋田の歴史と伝統文化に係る稀覯資料 5 編初訳読、一気に公開

## 江戸期の秋田漢詩文訳読（第 5 集）刊行

秋田の優れた文化遺産を顕彰し伝承する授業実践報告

秋田大学（学長：吉村昇）教育文化学部日本アジア文化講座（教授）石川 三佐男は、この度「**江戸期の秋田漢詩文訳読（第 5 集）**」を刊行しました。

秋田には広大な自然美と伝統文化が育んだ超一級の文化資源が多くあります。江戸期の秋田漢詩文数千編はその一例です。この数量は江戸期の日本漢詩文全体の一割強を占めていると見込まれていますが、その存在はあまり知られていません。秋田文化の「強み」と「弱み」の一つはここにあります。

そこで、郷土に残る優れた文化・教育資源を見直し、伝統的の古典や日本語にもっと親しんで欲しいという目的で、同講座では、「**秋田の優れた文化遺産を顕彰し伝達する授業実践報告**」と銘打ち、江戸時代の秋田藩の文人の漢詩や台碑等の訳読を通じた学生教育を行っています。そしてその成果を『江戸期の秋田漢詩文訳読』として冊子化すると共に、学生・教職員・県下の全中高・図書館等に無償配布しています。

**教員免許更新講習の演習成果**ともなった本書では、所蔵機関や個人所蔵者が快く史料を開示提供して下さったことにより、秋田の学術・学芸・教育・文化に係る掘り出し物の中の掘り出し物を公開することが出来ました。本書から、秋田の先人がいかに漢学に深い造詣を持っていたか、そして全国的に突出した文化的事跡であったかを感じていただければと思います。

### 『江戸期の秋田漢詩文訳読(第5集)』主な訳読

- 大光院桂葉筆「祖之記」、同「野代賦」両編  
(ともに能代市淳城家蔵・秋田県指定有形文化財)
- 塩谷温撰「狩野旭峰翁頌徳樋」(千秋公園)
- 狩野良知筆「送家弟徳藏赴于山形新聞社」(秋田魁新報社蔵)
- 狩野旭峰筆「遊六郷町觀諸家藤花詩」(軸物一幅・湯川家蔵)
- 池田文太郎翁傳所収「稷如亭雅会漢詩」(旭峰評・大仙市蔵)

※朱書きの 5 編は、本書の訳読成果を介して初めて公開される



#### 【お問い合わせ先】

〒010-8502 秋田市手形学園町 1 - 1

秋田大学教育文化学部（日本アジア文化講座）教授 石川 三佐男

（専門分野）中国古典文学，中国古代文化史，秋田漢詩文 ほか

電話：018-889-2610 e-mail：[ishikawa@ed.akita-u.ac.jp](mailto:ishikawa@ed.akita-u.ac.jp)

大学 HP：<http://www.akita-u.ac.jp/>

